



補習校だより

平成27年度 第4号

平成27年5月2日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

「あいさつ」のよくなる子どもに

先週開催しました定例総会・PTA 総会には、多数の方へ出席いただき誠にありがとうございました。活発な意見交換もあり、マイアミ補習校を、子どもたちのためにより良い補習校にしていこうという、皆さんの熱気を感じました。今後も、子どもたちのため、という観点でのご意見をいただければ幸いです。

その折に、本年度の教育目標・本年度の重点・具体策についてお話しさせていただきました。重点は「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」つまり知・徳・体のバランスが取れた「生きる力」を育むことです。そして、これらの基礎になるのは「ことばの力」です。学ぶことはもちろんですが、自分と周りの人との意思疎通を図り（コミュニケーション）豊かな心を育むのにも、基本的な生活習慣を身につけた心身ともに健康な子どもを育成するのにも「ことばの力」は欠かせません。

その意味では、ことばを使って「あいさつ」する習慣を付けることは、コミュニケーションの基本（心と心のキャッチボール）になります。「あいさつ」は、

- 相手に話す力を育てる基本
- 相手の話を聞く力を育てる基本
- 交流する力を育てる基本

です。

朝起きたときに、家族の中で「おはようございます。」のあいさつをする習慣が付けば、その言い方一つで（今朝も元気に起きてきたな）（今日は機嫌が悪そうだな）と、相手の思いに気が付くことができます。「ただいま！」なら（今日も楽しく過ごせた



【登校風景：おはようございます！】な）、「ただいま…」なら（何か嫌なことがあったのかな）と優しく受け止めることができます。

補習校の登校時、私も子どもたちに「おはようございます。」のあいさつをすることにしています。元気な声であいさつできる子が多いのですが、中には泣きじゃくりながらの登校をする子もいます。

（朝から何かあったんだな…）と思い、「おはようございます！」と声をかけました。すぐに笑顔になれたわけではありませんが、これを繰り返しながら子どもたちと仲良くなっていきたいと思えます。

あいさつを交わし、相手の思いを受け止めることのできる豊かな心を育て、「生きる力」の育成を図りたいと願います。

補習校でも全教育活動の中で具体化していきたいと考えています。ご家庭でもぜひ実践して下さい。マイアミ補習校全体で「あいさつ」のよくなる子どもに育てていきたいものです。